

【事業計画】

平成 27 年度・28 年度 事業計画

〔総括〕

当該年度では新たな事業は無いが継続して更なる事業の展開及び会員相互の親睦、組織結束力の強化により本学友会を益々発展させたい。

また、母校の発展のため側面から支援したい。

(1) 支部活動の支援と連携について

例年通り、会員相互の親睦・親交を積極的にはかって頂くため、定期的な支部総会の開催を要請すると共に、出席要請のあった支部には会長及び本部役員が出席するよう努めたい。

以下、常置委員会が行う事業以外について総括する。

〔委員会計画〕

(1) 庶務委員会

理事会・委員会等会議の開催、学友だよりの発送、ホームページの定期的な更新および内容の充実を図り会員相互の連携を強化する。

名簿委員会と連携して会員情報の管理、支部の役員名簿、卒業生就職先名簿など各種文書の取扱業務を行う。また、支部総会および同窓会開催時には、要望に応じて会員宛名シールの提供を行い支部・同窓会活動を積極的に支援する。

(2) 編集委員会

「学友だより」を例年通り年 4 回発行し、会員との情報の連携をより一層深めたい。内容に関しても例年通りとしたい。前年度の総頁数は 94 頁で、前々年度の 84 頁を上回る結果となったことを鑑み、各号の頁数の増減を含めて総頁数 90 頁前後を目途としたい。

(3) 企画委員会

① 就職問題に関する懇談会の開催

夏休み前の 5 月に大学講義室に於いて最終学年の学生を対象に懇談会を開催し、臨床実習や夏休みを就職活動に有効に利用してもらえるように努める。

② 学園祭における「学友会何でも相談コーナー」の開設

学園祭(大瑠璃祭)開催日に「学友会何でも相談コーナー」を設け、在学生の各種相談に応じると共に、学友会員との親睦を図る。在学生等が気軽に訪れられるように、出店等の企画を準備する。

③ オープンキャンパスにおける学生・保護者に対する「相談コーナー」の開設

オープンキャンパスのために来校した学生・保護者に対して診療放射線技師の仕事内容や大学での生活などに対する相談ができる場所を準備する。また、学友会組織を説明する展示を行う。

④ 任意団体としての学友会組織の検討

現在の学友会は任意団体(人格なき社団)として活動を行っている。現状のままの組織形態を維持するか、あるいは法人化等を行った方が学友会活動を行う上で有効であるかの検討を行う。

(4) 名簿委員会

平成 27 年度は名簿の発行を行わないため、新入正会員の登録や種々の変更に対応する。平成 28 年度には会員名簿 2016 年版の発行を行う。

前々期(2012 年版)は広告収入 1,370,000 円(32 社)、頒布収入 656,000 円(328 冊)であり、前期(2014 年版)は広告収入 1,090,000 円(23 社)、頒布収入は 688,000 円(344 冊)であった。全正会員の 1 割程度の頒布数があり、事業としての必要性は認められるものの、広告収入の増加は期待できない。今後、広告収入に頼らない発行方法の検討が必要である。

(5) 表彰委員会

2017 年度学友会総会においての、名誉会員の推戴、表彰規定にもとづく表彰者、並びに感謝状贈呈者の選考を行う。

(6) 財務委員会

① 一般会計

収入について、安定的に新入会員を確保できているため、終身会費からの補助金を同額とし、総額 10,328,505 円を計上した。支出については、学友だよりのページ数の増加を勘案し、前期末払い分(学友だよ

り 214 号)を含めて増額した。また、活発な活動を支える面から、旅費交通費・会議費を増額した。これらの増額分を相殺するため、今後も宅配業者を積極的に利用することとし通信費を減額した。事業費ならびに通信費の合計額は全予算の 71%となった(前年度 同 74%)。

②終身会費

前期と同様に、収入分と同額を補助金として一般会計に繰り入れることとした。国債等の預金利息と合わせて、今期末の積立額は 41,104,405 円となる予定である。

③ 21 世紀創生基金

今期は支出の予定はない。随時、寄附の受付を行い、基金として適切な運用・管理を行う。

(7)次期総会開催地(平成 29 年)

開催地：山陰支部開催

開催時期：平成 29 年 5 月(予定)

(8)新役員

会則および役員選出規定に基づき、平成 27・28 年度の会長および監事候補者 3 名は、平成 27 年 5 月 30 日、学友会総会において承認された。

選挙管理委員会 八木 勝己、平川 益三、堀井 均

	役員名	会員番号	所属支部
会長	神澤 良明	43-019	兵庫
監事	田中 龍蔵	48-017	京都
	山口 和也	52-057	大阪

次期選挙管理委員 八木 勝己(55 回生) 堀井 均(55 回生) 山内 聡(短 3 回生)

以上

* 通巻 216 号 2015 年 7 月 10 日発行(H27-No.2)より